

Title	内山正熊教授略歴；内山正熊教授著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1983
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.56, No.3 (1983. 3) ,p.663- 671
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	内山正熊教授退職記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19830328-0663

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

内山正熊教授 略歴

大正七年一月一三日

東京に生れる（本籍新潟）

昭和一〇年三月

第一東京市立中学校卒業

昭和一六年二月

慶應義塾大学経済学部卒業

昭和一七年一月

日本郵船株式会社入社

昭和一七年二月

日本郵船株式会社依願退社

昭和一七年二月

慶應義塾大学大学院入学

昭和一八年六月

高等試験行政科合格

昭和一八年一〇月

慶應義塾大学法学部助手

昭和二一年四月

慶應義塾大学法学部助教授

昭和二八年四月

慶應義塾大学法学部教授

昭和二八年七月

ブリティッシュ・カウンシル留学生として渡英、ロンドン大学（LSE）留学 三十年三月帰国

昭和三五年三月

法学博士

昭和三六年十一月

慶應義塾賞受賞

昭和三八年四月

東京大学教養学部講師（国際機構論担当） 四〇年三月まで

昭和四五年一月

法学部司法研究室所長 四七年三月まで

昭和四六年九月

東京大学教養学部講師（国際政治史担当） 五三年三月まで

昭和四八年一〇月

早稲田大学政治経済学部講師（外交史担当） 五八年三月まで

昭和五四年四月

法学研究編集委員会委員長 五八年三月まで

なお、東京都立大学、関東学院大学、清泉女子大学、立教大学の講師、国際法学会、日本政治学会、国際政治学会の理事をつとめる。

内山正熊教授 著作目録

著 書

国際政治学序説

西洋外交史

外交と国際政治

現代外交論

現代日本外交史論

西洋外交史(続編)

神戸事件

翻 訳

R・C・K・エンソー著『第二次世界大戦史』

共 訳

V・H・コエロ著『シッキムとブータン』(三田幸夫氏と共訳)

国際連合総会国際法委員会編『ニュールンベルグ裁判所条例及び判決——歴史と分析』(資料 前原光雄・須藤次郎・平良・田口精一氏と共訳)

J・W・バートン著『外交の体系分析』(内山正熊研究会訳 石川一雄・岡本寿美子・長田研一・田中俊郎・梅垣理郎氏と共訳)

三和書房

慶應通信

慶應義塾大学法学研究会

有信堂

慶應義塾大学法学研究会

慶應通信

中央公論社

岩波書店

集英社

法学研究二四卷二・三合併号

鹿島研究所出版会

昭和二七年

昭和三二年

昭和三五年

昭和三六年

昭和四六年

昭和五三年

昭和五八年

昭和三一年

昭和四八年

昭和二六年

昭和四五年

単行書収録論文

「福沢諭吉の外交論」

『慶應義塾大学創立百年記念論文集（法学部）』（第二部政治学関係）所収

「ディズエンゲージメントの特質」

『中立主義の研究（上）』（国際研究第一巻）所収

「国際政治における南北問題」

英修道博士還暦記念論文集『外交史及国際政治の諸問題』所収

「現代における軍部と軍隊」慶應義塾大学地域研究グループ著 代表内山正熊

『変動期における軍部と軍隊』所収

「アメリカにおける軍国主義の問題」慶應義塾大学地域研究グループ著 代表

内山正熊 藤原守胤先生古稀記念論文集『アメリカの対外政策』所収

「天津租界封鎖の背景」細谷千博・皆川洗編 大平善梧先生還暦記念論文集

『変容する国際社会の法と政治』所収

「東京裁判——A級戦犯の問題」

家永三郎編『昭和の戦後史 第一巻 占領と再生』所収

「明治外交の開幕——一八六八年の神戸事件」

手塚豊教授退職記念論文集『明治法制史・政治史の諸問題』所収

「川喜多大尉北京客死事件」

石川忠雄教授還暦記念論文集『現代中国と世界——その政治的展開』所収

「満州事変と国際連盟脱退」『昭和史の軍部と政治』所収

雑誌掲載論文

国際政治に於ける国家の問題

現段階の国際連合

慶應義塾大学法学部 昭和三十三年

日本国際問題研究所 昭和三十六年

慶應通信 昭和三十七年

慶應通信 昭和四三年

鹿島研究所出版会 昭和四六年

有信堂 昭和四六年

汐文社 昭和五一年

慶應通信 昭和五二年

慶應通信 昭和五七年

第一法規出版 昭和五八年

法学研究二〇巻二号 昭和二二年
法学研究二二巻九号 昭和二三年

転換期の外交

西欧連合と英国の動向

欧州統一運動——欧州議会の成立

国際主義と世界主義

朝鮮事変と日本の立場

第二次世界大戦戦争責任論

ハンキー卿の戦争責任論——連合国の無条件降伏政策と戦争裁判の批判

(一)、(二)

北大西洋条約機構成立史

外交と外交政策

平和的共存思想の歴史的展開(板倉卓造・西本辰之助先生謝恩記念論文集所収)

国際連合と権力政治

イギリス最近の対米政策

ルーズベルトの極東政策批判

東西ヨーロッパの分離——西ヨーロッパの形成(「現代国際政治の構造」所収)

現代における中立および中立主義

Disengagementの沿革と本質

国際政治における中立主義

イギリスにおける国際政治学の現状(「国際政治学の体系」所収)

転換期に立つNATO

日独戦争と山東問題(及川恒忠先生追悼論文集所収)

日英同盟と日米安保条約

法学研究二二卷一〇号 昭和二三年

法学研究二二卷一号 昭和二四年

法学研究二二卷四号 昭和二四年

法学研究二三卷五号 昭和二五年

三色旗三三号 昭和二五年

国際法外交雑誌五〇巻五号 昭和二六年

法学研究二五巻四、五号 昭和二七年

国際法外交雑誌五二巻一二号 昭和二八年

ニュース・レター六一号 昭和三〇年

法学研究二九巻一・二・三合併号 昭和三一年

国際法外交雑誌五五巻二・三・四合併号 昭和三一年

法学研究三〇巻五号 昭和三二年

法学研究三一巻九号 昭和三三年

国際政治四号 昭和三三年

中央公論八四二二号 昭和三三年

国際法外交雑誌五八巻三号 昭和三四年

中央公論八五一号 昭和三四年

国際政治九号 昭和三四年

外交時報九六一号 昭和三四年

法学研究三三巻二号 昭和三五年

世界一七五号 昭和三五年

日米修交百年——日米關係百年の回顧

個人外交の限界

軍縮の現代的意義

國際連合におけるブロック政治

世界緊張緩和の戰略と理論

日本外交の理念と現実

日本外交の伝統と革新

揺らぐ西ヨーロッパの結束

欧州統合とイギリス（「欧州統合の研究」所収）

霞ヶ閣正統外交の成立（「日本外交史の諸問題二」所収）

ケネディ大統領の宿命

日本における親英主義の沿革（板倉卓造先生追悼論文集所収）

外務機關の機能と構成——特に外務省と外務大臣について

戦前の外務大臣——三代の外交と外相

ウィルソン外交の軌跡と課題

危機に立つ國連

トーマス・ベイティ博士の論功

國連と南北問題

國際連盟脱退の由来

小村外交批判（法學部政治學科開設七〇周年記念論文集所収）

國連新加盟國家の若干問題

マクナマラ國防長官退場の背景

三色旗一四六号

朝日ジャーナル二卷二三号

法學研究三四卷五号

國際法外交雜誌六〇卷二号

エコノミスト四〇卷六号

現代の眼一二月号

法學研究三六卷八号

朝日ジャーナル六卷五十一号

國際政治二七号

國際政治二八号

三田評論六二五号

法學研究三七卷一二号

法學研究三八卷七号

日本及日本人一六卷二号

國際問題六五号

三田評論六四三号

國際法外交雜誌六五卷六号

國際法外交雜誌六五卷一二号

法學研究四〇卷一〇号

法學研究四一卷五号

法學研究四一卷九号

三田評論六六九号

昭和三五年

昭和三五年

昭和三六年

昭和三七年

昭和三七年

昭和三七年

昭和三八年

昭和三九年

昭和三九年

昭和三九年

昭和三九年

昭和四〇年

昭和四〇年

昭和四〇年

昭和四〇年

昭和四〇年

昭和四二年

昭和四二年

昭和四二年

昭和四三年

昭和四三年

昭和四三年

- 日本における中立主義の生長
 カナダ本邦移民制限史の一断面（英修道・藤原守胤教授退職記念論文集所収）
 満州事変と国際連盟脱退（「満州事変」所収）
 軍縮と世界法（潮田江次先生追悼論文集所収）
 天津英国租界封鎖の契機（津田利治・宮崎澄夫・伊藤政寛教授退職記念論文集所収）
 「日本における中立主義の生長」について——中村菊男教授の批判に答える
 外交の概念規定について
 外交学の現段階
 外務省の機能変遷
 日独伊三国同盟前史（田中荊三先生退職記念論文集所収）
 The Foreign Office of Japan : Past and Present
 軍人外交官——駐在武官の研究
 明治官廷外交の沿革——明治二年の英国王子来朝を起点として（『法学研究』五〇巻記念論文集所収）
 吹田事件（一八八〇年）の史的回顧（中村菊男先生追悼論文集所収）
 領事外交論
 外交官と領事官の間
 ポーツマス条約成立秘史
 The Fundamentals of Japanese Foreign Policy : Why Japan is Pro-American in her Diplomatic Style
 日本海軍の創建
 在外武官の研究（遠峰四郎教授退職記念論文集所収）
- 法学研究四二巻一〇号
 法学研究四三巻一〇号
 国際政治四三号
 法学研究四三巻一〇号
 法学研究四四巻三〇号
 法学研究四四巻四号
 法学研究四五巻六号
 法学研究四六巻九号
 国際法外交雑誌七一巻五・六合併号
 教養論叢四三号
 Keio Journal of Politics, No. 2
 国際法外交雑誌七四巻六号
 法学研究五〇巻一二号
 法学研究五一巻五号
 国際法外交雑誌七八巻三号
 法学研究五二巻五号
 法学研究五二巻一二号
 Keio Journal of Politics, No. 3
 法学研究五三巻一一号
 法学研究五四巻三号
 昭和四四年
 昭和四五年
 昭和四五年
 昭和四五年
 昭和四六年
 昭和四七年
 昭和四八年
 昭和四八年
 昭和五〇年
 昭和五〇年
 昭和五一年
 昭和五一年
 昭和五二年
 昭和五三年
 昭和五四年
 昭和五四年
 昭和五四年
 昭和五五年
 昭和五五年
 昭和五六年

日本外交の原脈

維新外交の発進——明治元年の神戸事件をめぐる

資料・紹介

「英国の軍縮政策」(英国外交政策研究会シリーズ四)

「英国」『ソ連承認事例の研究』第三部

日英米外務大臣歴任表(「日本外交史研究——外交と世論」所収)

『日本政治学会文獻目録』六号(日本政治学会編 文獻委員長内山正熊)

『日本政治学会文獻目録』七号(日本政治学会編 文獻委員長内山正熊)

外交学文獻目録(慶應義塾大学外交学研究グループ 石川一雄・山川征和・田中俊郎・林猛雄氏と共作)

「日独伊三国同盟締結の真相」『昭和日本史 三 日中戦争』所収

書評

Emery Reves, *The Anatomy of Peace*

Arnold Toynbee, *Civilization on Trial*

E. H. Carr, *The New Society*

P. M. S. Blackett, *Atomic Weapons and East-West Relation*

西春彦『回想の日本外交』

Martin F. Herz, *Beginning of the Cold War*

H・ニコルソン(斉藤真・深谷満雄訳)『外交』

桜井光堂『国際文化政策』

法学研究五四卷一〇号

法学研究五五卷一〇号

昭和五六年
昭和五七年

外務省欧亜局英連邦課

外務省アジア局中国課

国際政治四一号

福村出版

福村出版

法学研究四六卷一〇号

暁教育図書

法学研究二二卷七号

日本政治学会年報政治学一九五一年度

法学研究二六卷四号

国際法外交雑誌五七卷三三三

朝日ジャーナル七卷一三三

法学研究三九卷九号

国際問題七四号

国際法外交雑誌六四卷三三三

昭和三五年
昭和四二年
昭和四五年
昭和四六年
昭和四七年
昭和四八年
昭和四九年
昭和五二年
昭和二三年
昭和二六年
昭和二八年
昭和三三年
昭和四〇年
昭和四一年
昭和四一年
昭和四一年

神谷不二『現代国際政治の視角』

国際政治三三〇

昭和四二年

家永三郎『太平洋戦争』

法学研究四二卷六号

昭和四四年

宮下啓三『中立をまもる——スイスの栄光と苦惱』

法学研究四二卷一—号

昭和四四年

John Kenneth Galbraith, *How to Control the Military*

法学研究四三卷九号

昭和四五年

坂野正高『現代外交の分析』

国際法外交雑誌七一巻一—号

昭和四七年

松岡洋右伝記刊行会篇『松岡洋右——その人と生涯』

国際政治五六号

昭和五一年

新名丈夫編『海軍戦争検討会議記録——太平洋戦争開戦の経緯』

週刊読書人二月二八日号

昭和五二年

斉藤鎮男『国際連合論序説』

法学セミナー一—月号

昭和五三年

斉藤鎮男『国際連合の新しい潮流』

世界経済評論二三卷九号

昭和五四年

高木惣吉『高木海軍少将覚え書』

週刊読書人二月二九日号

昭和五五年

松村正義『日露戦争と金子堅太郎——広報外交の研究』

国際政治六九号

昭和五六年

田村幸策『最近世界外交史』

国際法外交雑誌七九卷六号

昭和五六年

その他

ロンドン大学の生活

三田評論五六七号

昭和三五年

オックスフォード会議に出席して

三田評論六〇一—号

昭和三七年

読書についての覚書

三色旗一七六号

昭和三九年

小泉先生との対話

塾四卷一—号

昭和四二年

大國と小國

社会科学通信一四号

昭和四二年

国際平和の基礎条件（『平和』キリスト教双書五所収）

関東学院大学・短大チャブレン会

昭和四三年

学園紛争のさなかで感じたこと

鎌倉市民一〇六号

昭和四三年

忠誠の問題

三色旗二六一号

昭和四四年

平和の戦士

S・カンドゥー一卷選集（父兄のための一冊の本）

林毅陸（五人の塾長）

法学部学生のために——人間としての豊潤さを

ロンドンの半年——私のサブテイカル

西洋外交史——テキストの周辺

三田と日吉の講義（講義覚え書）

早慶外交事始——日本外交史上の大隈と福澤

周玉璠君——友

外交管見——外交官は平和の戦士

宿題のすすめ（提言）

海上自衛隊名称考

戦時中のころ

政治学科の学統

鎌倉市民一二〇号

塾七巻四号

塾八巻四号

三田評論七二七号

三田評論七六二号

三色旗三七四号

塾一七巻四号

JAIR ニュース・レター七号

三田評論七九七号

塾友二九〇号

塾一九巻六号

水交三四〇号

三田評論八三四号

三色旗四二〇号

昭和四五年

昭和四五年

昭和四六年

昭和四八年

昭和五一年

昭和四四年

昭和四四年

昭和四四年

昭和四四年

昭和五六年

昭和五六年

昭和五七年

昭和五八年

昭和五八年

（作成 田中俊郎）